



## 谷村 邦久

一般社団法人東北経済連合会 副会長

### 未来にむけて躍動する岩手・東北に！

昨年、全国の自治体で「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」が策定される中、岩手県では地方創生、若者そして女性の活躍促進を3本の柱に掲げ、具体的な取り組みが期待されています。地方創生の実現のためには、地域の経済と雇用を支える中小企業、小規模企業に対するきめ細かな経営支援体制や販路開拓・人材確保の支援など、地域総合経済団体としての商工会議所が果たすべき役割は一層重要性を増しております。

本県における最大の課題は、言うまでもなく東日本大震災津波からの一日も早い復興であります。被災地の復旧・復興が完全に成し遂げられるまで、被災地の実情に即した柔軟で十分な支援を国が講じられるよう随時働きかけるとともに、現在の特例的な財政支援や各種制度についても、変化やニーズに即して可能な限り拡充のうえ、万全の体制で臨むよう国に対し要望してまいります。

さらに「新しい岩手の未来」を創造していかなければなりません。本県では本年「希望郷いわて国体・いわて大会」が開催されております。お陰様で冬季大会は、好成績を収めることができ選手団の受け入れも成功裡に終了しました。9月から始まる本国体にむけ、「復興への感謝を伝える、県民にとって復興の力となる国体」を目指し、その成功にむけて商工会議所としても全力で支援してまいります。

また「国際リニアコライダー（ILC）の実現」は、本年がまさに正念場であります。この2月には、東北ILC推進協議会高橋宏明会長とともに、米国ワシントンDCを訪問、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟主催による「日米先端科学技術フォーラム」に出席し、地元の熱意と受け入れ態勢の整備にむけた取り組みを発表してまいりました。ILCの実現は産業の集積やイノベーションにとどまらず、東北の国際観光の核ともなり、新しい岩手、東北を創造する最大のチャンスでもあります。一日も早く国が決断できるよう活動を加速してまいります。

釜石市の橋野鉄鉱山世界遺産登録が実現し、ラグビーワールドカップ2019も釜石開催が決定、いわて完全国体の開催、北海道新幹線開業などとあわせ東北への関心が高まっております。この機を逃さず、内陸と沿岸の連携を密にし、新たな観光商品の開発やブラッシュアップとともに、東北観光推進機構が提唱されている広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」の推進など、新しい岩手・東北の未来創造にむけて積極的な事業展開を図ってまいりたいと存じます。

人口急減・超高齢化社会を迎えている今、「東北は一つ」をモットーに、躍動する1年にしたいと思っております。

（岩手県商工会議所連合会会長・やむら くにひさ）